

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/6 （3/30との比較）	4/6 （3/30との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.14% （+0.05）	83.64円 （+1.49%）	+2.9% 2017年4Q	1.25%	貿易収支は市場予想を下回ったものの、雇用統計では失業率が横ばいとなり、雇用者数が市場予想を上回る良好な内容。原油価格が軟調に推移する中、カナダドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	住宅着工件数などの発表を予定。NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉や各国の通商政策に注意が必要で、カナダドルの通貨先物ポジションでは売り持ちが拡大しており、カナダドルは上値の重い展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	8.68% （+0.41）	31.73円 （▲1.31%）	+2.1% 2017年4Q	6.50%	鉱工業生産や製造業PMIでは緩やかな景気改善が示される中、インフレ率は落ち着いた動き。最高裁がルラ元大統領の収監を認め、政治が安定する兆しもみられる中、国債利回りは上昇。レアルは対円で下落。	インフレ率や小売売上高などの発表を予定。緩やかな景気回復が示される中、中銀の追加利下げの期待が強まりやすいことから、為替が安定すればブラジル債券が選好される可能性が高いと認識。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.19% （▲0.03）	5.85円 （▲0.01%）	+1.5% 2017年4Q	7.50%	製造業PMIや消費者信頼感指数が前月比で改善。7月の大統領選挙について、元メキシコ市長のオブラドール氏の支持拡大が示される中、国債利回りは小幅低下。ペソは対円で小幅下落。	CPI（消費者物価指数）や小売売上高、政策金利などの発表を予定。中銀は政策金利を据え置くと予想され、大統領選挙やNAFTAを巡る動きが注目される中、債券・為替市場はレンジ内での推移を想定。
	A3	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/6 （3/30との比較）	4/6 （3/30との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.66% （+0.06）	82.06円 （+0.57%）	+2.4% 2017年4Q	1.50%	市場予想通り中銀は政策金利を据え置き、インフレ率の慎重な見通しなどにより利上げ観測がやや後退。小売売上高や貿易収支が市場予想を上回る中、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	世界的な通商政策から目が離せない状況であるものの、鉄鉱石価格の持ち直しや、中国の資本流出懸念が後退する可能性が高いことなどから、豪ドルは対円で下値の堅い展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.80% （+0.08）	77.78円 （+1.15%）	+2.9% 2017年4Q	1.75%	消費者信頼感指数や住宅価格などはやや強めの結果となった一方、乳製品入札はやや弱めの結果となるなど強弱混在。ニュージーランドドルは対円で上昇。世界的な利回り上昇の影響から、国債利回りは上昇。	ファンダメンタルズの底堅さを確認する上でも、発表される住宅指標や製造業PMIなどに注目。市場予想から大幅にかい離する内容とならなければ、先週同様海外市場の影響を受けやすい展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.83% （▲0.03）	13.80円 （+1.79%）	+1.4% 2017年4Q	0.50%	原油価格の下落がノルウェークローネの下落要因となったものの影響は限定的。製造業PMIが引き続き高水準を維持していたことなどから、ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは小幅低下。	発表予定の鉱工業生産やCPIなど、注目指標の結果次第ではノルウェークローネの対円での底堅い推移が継続する見込み。緩和的な金融政策への期待から国債利回りはレンジ内での推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/6 (3/30との比較)	4/6 (3/30との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
南アフリカ 	BB+	7.48% (+0.11)	8.89円 (▲0.91%)	+1.5% 2017年4Q	6.50%	PMIでは生産や新規受注などの項目を中心に市場予想を下回る結果。財務省は、昨年度の税収額が目標をおおむね達成したことを発表。ランドは対円で下落。国債利回りは上昇。	製造業生産や鉱物生産量などの発表を予定。政治改革の進展などが期待されるものの、南アフリカ固有の材料には乏しい中、米中貿易戦争への懸念も残ることなどから、債券・為替市場は上値の重い展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB-	5.99% (+0.05)	0.78円 (+0.57%)	+5.2% 2017年4Q	4.25%	製造業PMIが前月から低下し、外貨準備高が前月から減少したことに加え、CPI及びコアCPIの前年比伸び率も加速したことなどを背景に、国債利回りは上昇。市場の円安傾向を受けて、ルピアは対円で上昇。	特段重要な経済指標等の発表が無いいため、マーケット全体のセンチメントや、米国サイドの材料に影響を受けやすい展開が予想される中、インドネシアの債券・為替市場は底堅い推移を予想。
	Baa3	 金利低下		 景気拡大	 据え置き局面		
インド 	BBB-	7.18% (▲0.21)	1.65円 (+0.92%)	+7.2% 2017年4Q	6.00%	製造業PMIが前月から低下し、中銀が政策金利を据え置期中、利上げ観測が後退。銀行の会計処理指針の変更により銀行の収益改善と各種債券の需給改善期待が台頭する中、国債利回りは低下。ルピーは対円で上昇。	鉱工業生産や貿易収支、CPIなどの発表を予定。与党勢力が低下する可能性や原油価格の動きには注意が必要であるものの、ルピーは年明けから軟調に推移しており底打ちの時期を探る状況。
	Baa2	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

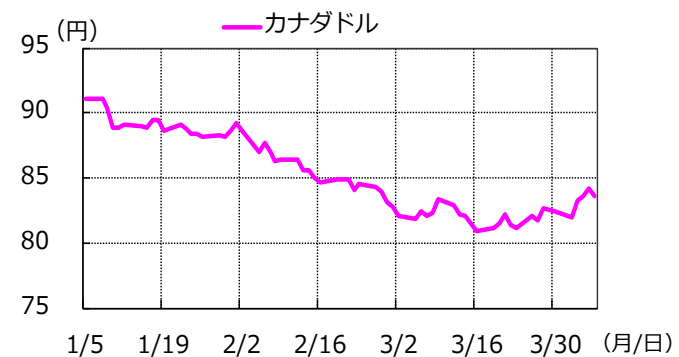
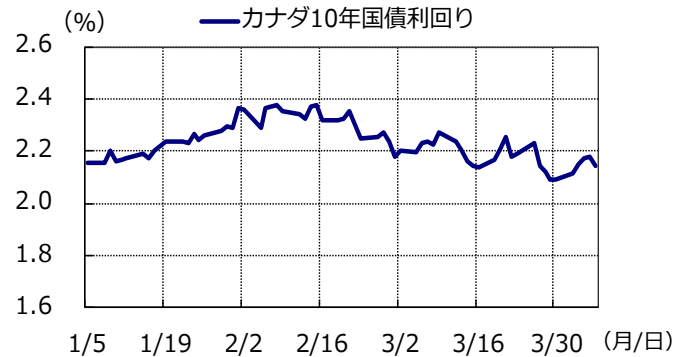
（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

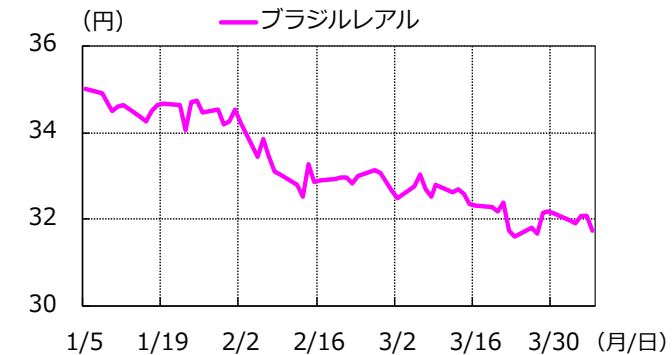
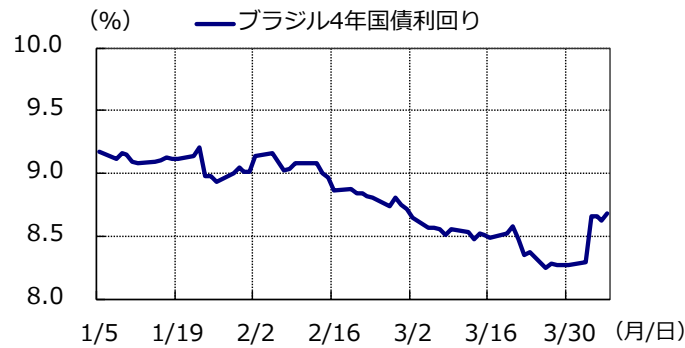
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/1/5～2018/4/6

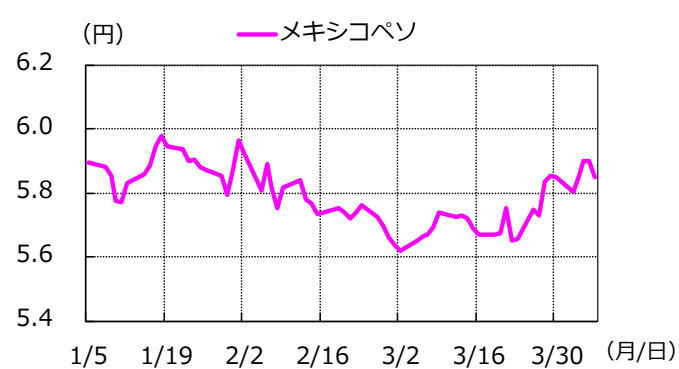
カナダ



ブラジル



メキシコ

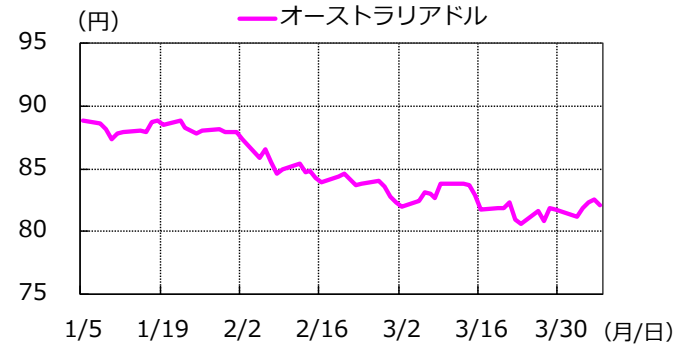
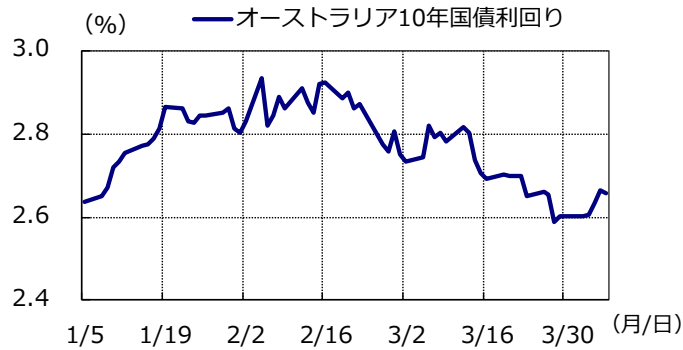


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

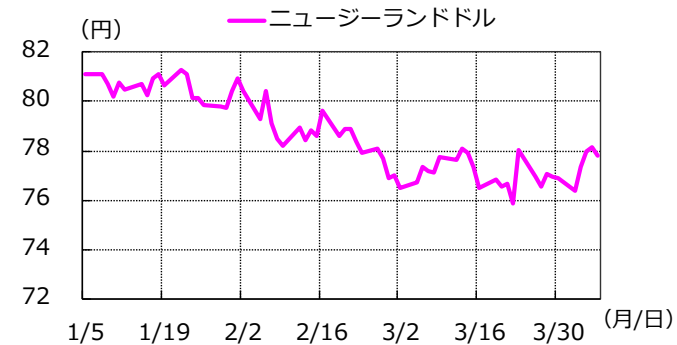
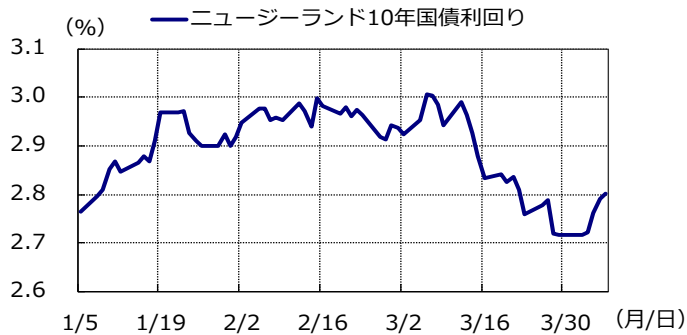
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/1/5～2018/4/6

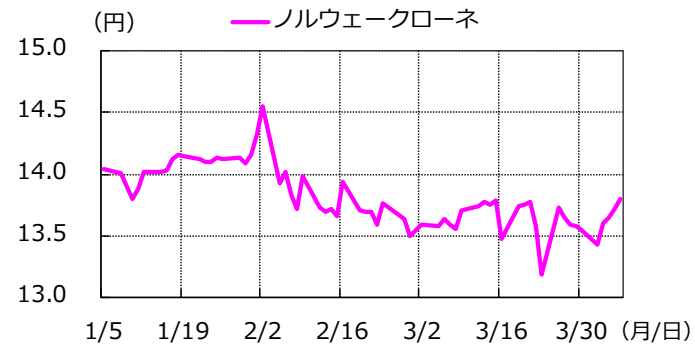
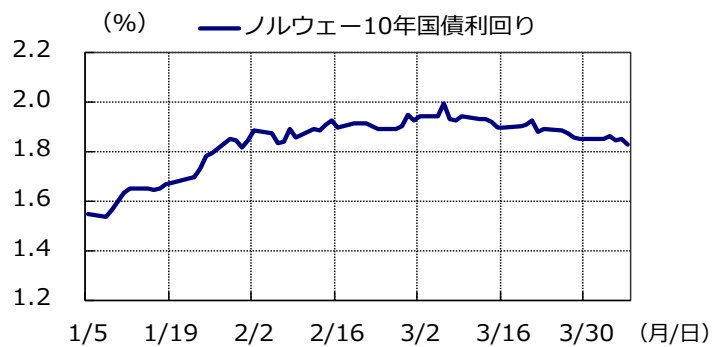
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

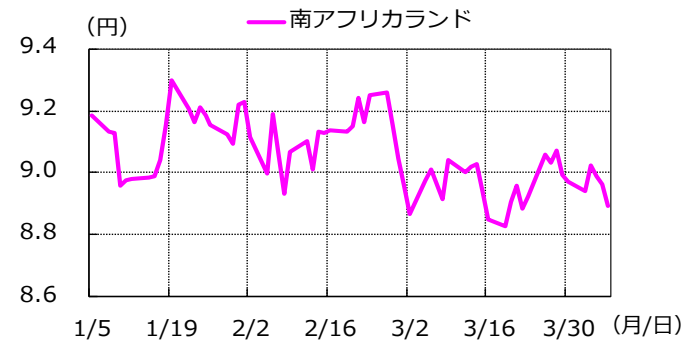
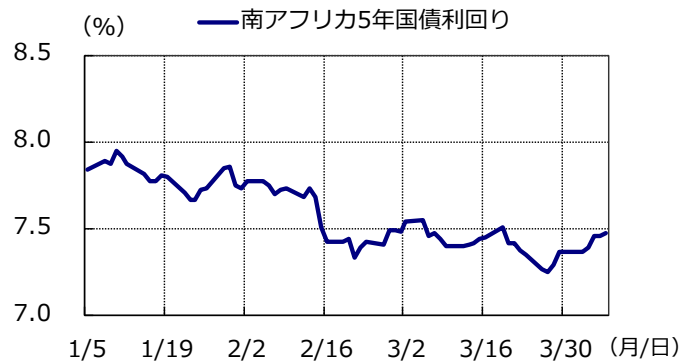


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

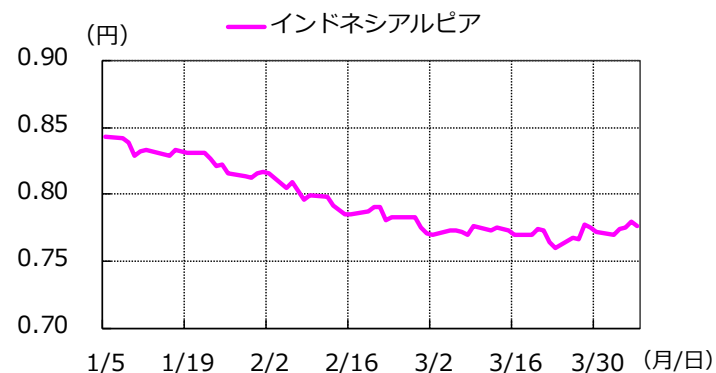
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/1/5～2018/4/6

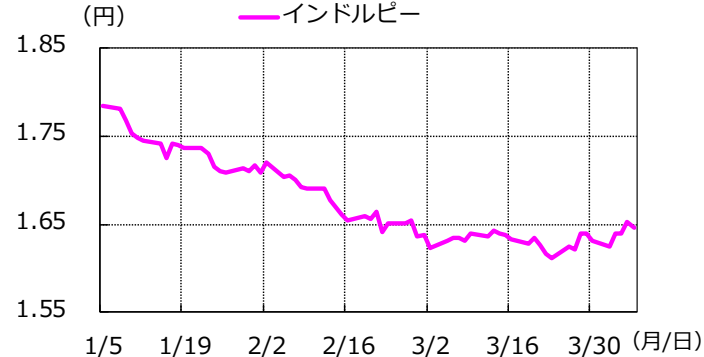
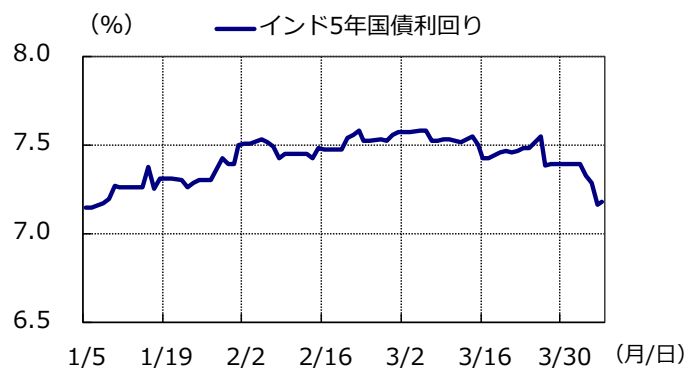
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。